

2016 年度事業報告書

特定非営利活動法人 移動サービスアクセス

1. 事業の成果

私たちが車を使った高齢者のための送迎サービス事業を始めてから 15 年目となりました。当初の利用会員は高齢の方ばかりでしたが、知的障がい児・者のご利用が増えたため、5 年前から横浜市地域生活支援サービス「通学通所支援」を始めました。現在は毎月のご利用件数の 6 割がこの制度を利用しています。

しかし、脳梗塞後遺症などによる中途身体障がい者が利用できる公的外出支援制度がないこと、また通学通所支援制度を使っても車両利用料など負担が大きいこと、等 課題は残っています。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 移動制約者に対する外出支援を行なう福祉有償運送事業

内 容：だれでもいつでもどこへでも自由に外出できる社会をめざして「車による送迎」と「介助」で外出支援

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（14 名）

介護福祉士 1 名、ヘルパー 2 級 3 名、初任者研修修了者 1 名、知的障害者ガイドヘルパー 10 名
受益対象者：3 月末現在利用会員（32 名）延べ実利用人数：364 人（月平均 30.3 人）

活 動 件数：3,296 件（前年比 106%） 3,512 トリップ（前年比 98%）

目的別内訳：通 院 90 トリップ（前年比 59%）

通学・通所 （自費） 573 トリップ（前年比 84.3%）

（ガイドヘルプ事業利用） 2,340 トリップ（前年比 113.2%）

合 計 2,913 トリップ（前年比 106%）

そ の 他（入所施設と自宅の往復など） 509 トリップ（前年比 79.8%）

活 動 時間：1,814 時間（前年比 98%）

支 出 額：3,334,770 円（前年比 95%）

II. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（通称 障害者総合支援法）に基づく移動支援事業

内 容：「養護学校/個別支援級」と「自宅/放課後等児童デイサービス 等」間、「自宅」と「作業所/地域活動ホーム 等」間を『通学通所支援制度』を使って車で送迎

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（14 名）

受益対象者：利用会員のうち登録者数 20 名 （学齢期 6 名、18 歳以上 14 名）

活 動 件数：2,340 件（前年比 112.9%）
・通学： 444 件（前年比 98.4%）
・通所：1,896 件（前年比 116.9%）
支 出 額：1,721,225 円（前年比 99.9%）

Ⅲ. 「横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱団体」としての事業

内 容：「個別支援級への通学」「放課後等児童デイ・作業所への通所」「視覚障害者の外出サポート」
等のための、「横浜市ガイドボランティア制度の周知」および「コーディネートの実施」
日 時：年間を通して
場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として
従事者人員：コーディネート 1 名
ボランティア：28 名
受益対象者：支援対象登録者 23 名
活 動 回 数：1,309 件（前年比 96.8%）
支 出 額：1,216,155 円（前年比 91.4%）

Ⅳ. デイサービス施設の送迎受託事業

実施できませんでした。

Ⅴ. 生活の質を高めるためのお出かけプラン提供事業

利用会員が変化し、平日は通学や通所されている方がほとんどなので、今年度は実施できませんでした。

Ⅵ. 知識・技術の向上に関する共育・研修事業

内 容：「横浜市ガイドボランティア制度の普及」および「ボランティア参加者の拡大」のための研
修会の開催
日 時：7/22、10/13、1/28、2/7、2/13、3/7
場 所：青葉・緑・港北・鶴見 の 各区内
従事者人員：延べ 35 名
受益対象者：参加者 71 名
支 出 額：514,662 円

Ⅶ. その他、この法人の目的達成に必要な事業

内 容：地域福祉を豊かにしていくため、他団体・他機関と連携
日 時：年間を通して
場 所：横浜市内
従事者人員：3 名
受益対象者：横浜市民
支 出 額：174,603 円